

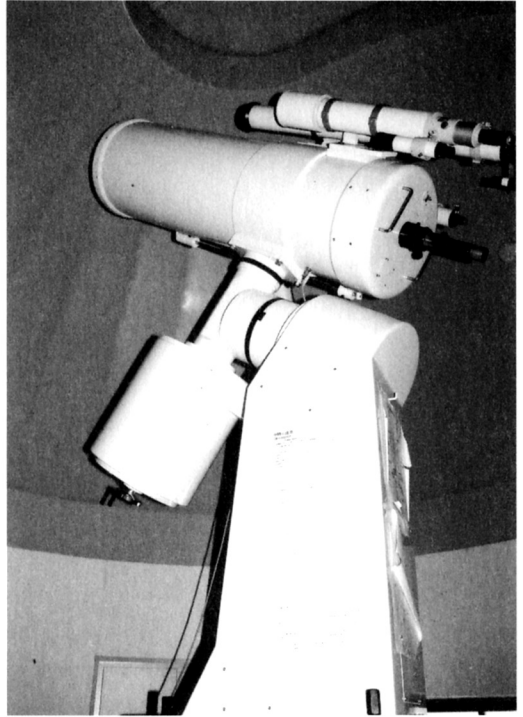
「飯田大学」創設の夢

1996(平成8)年、本校校舎の改築に伴って、最新式の天体望遠鏡を設置した天文台に、「宮沢芳重よしむね氏顕彰」と刻まれた一枚の肖像レリーフが掲げられている。宮沢芳重さん。飯田中高の卒業名簿に、その名前はない。

1898(明治31)年、現・松川町生田に生まれる。小学校卒業後、農業に従事していたが、向学心に促されて上京し、苦学力行して、1925(大正14)年、東京物理学校予科(現・東京理科大学)を卒業した。

芳重さんは内に熱い思いを抱いていた。それは故郷伊那谷に「飯田大学」を創設したいという思いだった。その思いが、飯田高校に天体望遠鏡を寄贈するという構想につながっていった。芳重さんの情熱が多くの人たちの心を動かし、晴れて1958(昭和33)年、飯田高校に、当時の最新式6吋屈折赤道儀望遠鏡を備えた天文台が完成した。そのとき、芳重さん60歳。日雇労働生活で得た浄財を“世の中のため”に捧げ続けた一生だった。

1970(同45)年11月27日、72歳で生涯を閉じた芳重さんは、生田の地で「芳重地蔵」として、いまま伊那谷を眺め続けている。



40cmカセグレン式反射望遠鏡



飯田市立中央図書館にある「宮沢芳重文庫」